

由加神社と西の稲荷宮

この隣り合った 2 つの神社は後樂園の北側にあり、池田家の大名が祈願に訪れていました。由加神社は東京にあった池田家本邸から 1872 年に移築されたものですが、西の稲荷宮は 1786 年からこの場所に建っています。由加神社は瑜伽大権現を分霊したものです。岡山県倉敷の瑜伽山にある瑜伽大権現は、厄除けの神仏習合の神として知られています。瑜伽大権現は、池田綱政（1638～1714）の後を継いだ岡山藩主がよく参拝に訪れていたと言われています。瑜伽大権現の分社である由加神社は 1840 年に江戸（現在の東京）の池田家本邸に建てられました。石造りの鳥居の向こうに小さな建物が 2 つあり、一つは正面にある拝殿で、もう一つはその奥にある檜皮葺きの本殿です。

西の稲荷宮は、岡山藩主池田治政（1750～1818）の時代に創建されたもので、大名たちが定期的に参拝していた時代からずっとこの地に建っています。池田斉政（1773～1833）の時代には、城下町の領民を招いてお祭りが開催されました。庭園には飾りつけがされ、領民たちは稲荷宮への参拝が許されました。お祭りには数万人が参加したといわれています。